科目名	医学総論					授業の種類	講義	必修・選択		必修	
授業回数	8	回	時間数	15	時間	1	単位	配当学年時期		1年	前期
【授業の目的・ねらい】 言語聴覚士が医療従事者として知っておくべき医学・医療全般についての基礎的事項を理解し 国家試験に合格できる力を養う。											
【実務者経験】											
【授業全体の内容の概要】 言語聴覚士が医療従事者として知っておくべき医学・医療全般についての基礎的事項を理解できる。 国家試験に則した基礎知識を身につける。											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 言語聴覚士が医療従事者として知っておくべき医学・医療全般についての基礎的事項を理解し、 説明することができる。											
回数	講義内容								準備物(教材)		
1	健康の概念とQOLについて理解できる。								PC, PPT使用 プリント配布		
2	生活機能と障害についてICFの理念を理解できる。								PC, PPT使用 プリント配布		
3	ICFの機能分類について概要を理解できる。								PC, PPT使用 プリント配布		
4	医の倫理とインフォームドコンセント、インクルージョン、ノーマライゼーションについて理解できる。								PC, PPT使用 プリント配布		
5	チーム医療、地域医療、医療安全、EBMについて理解できる。								PC, PPT使用 プリント配布		
6	人口・保健統計と疫学概念、健康管理(生活習慣, 予防医学)について理解できる。								PC, PPT使用 プリント配布		
7	母子保健, 成人/老人保健, 精神保健, 環境保健, 感染症対策について理解できる。								PC, PPT使用 プリント配布		
8	まとめ 国家試験に則した知識を整理できる。								PC, PPT使用		
定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 『言語聴覚士テキスト』第3版 医歯薬出版 『医療を学ぶあなたへ』二瓶社											
【準備学習・時間外学習】 予習としてテキストの該当箇所を読んでおく必要があります。また講義の復習が必要です。 国家試験過去問の自己学習が求められます。											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。											